

## 山崎達也教授（大学院自然科学研究科）が一般社団法人電子情報通信学会 2017 年安全・安心な生活と ICT 研究会 「安全・安心ベストプラクティス賞」を受賞しました。

平成 30 年 3 月 21 日、東京電機大学東京千住キャンパスで行われた電子情報通信学会（以下、信学会）の総合大会において、大学院自然科学研究科の山崎達也教授が 2017 年安全・安心な生活と ICT 研究会 「安全・安心ベストプラクティス賞」を受賞しました。

本賞は、安全・安心な生活と ICT 研究専門委員会が主催、共催、または、併催する研究会、シンポジウム及び大会において発刊される概要集に掲載された論文の中から、特に安心・安全な社会の実現を目指し、災害現場や社会インフラの保守・管理・運用での実証や事例に関する発表数件に授与されるものです。受賞対象となった研究は、平成 25 年から平成 28 年 9 月末までの新潟県内で発生した交通死亡事故データを分析する際に、政府機関等が公開しているオープンデータを組合せることにより、複合的な解析を行ったものです。用いたオープンデータは、例えば国土地理院の基盤地図情報及び地理空間情報であり、分析結果から夏場は田などの用地で交通死亡事故の発生が多い一方、冬場には建物用地、すなわち住宅地などで多く発生しているという新たな知見が得られたものです。本研究は、2016 年度に（一財）佐々木環境技術振興財団より助成を受けて、当時の修士課程 2 年生の設楽勇氣君、前原謙一君とともに実施したものであり、その成果を平成 29 年 3 月に本学で開催された安全・安心な生活と ICT 研究会で発表した結果、今回の受賞につながりました。今後、データ分析等のソフト面から交通事故件数の減少に貢献できるようにさらに研究を進めていく予定です。

受賞発表：オープンデータを用いた交通事故発生地点の分析

著者：山崎達也（新潟大）・設楽勇氣・前原謙一（新潟大：発表当時）

リンク：[http://www.ieice.org/ess/ictssl/award\\_report.html](http://www.ieice.org/ess/ictssl/award_report.html)

# 表彰状

2017年安全・安心な生活とICT研究会  
安全・安心ベストプラクティス賞

山崎達也 殿  
設楽勇氣 殿  
前原謙一 殿

発表題目：  
オープンデータを用いた交通事故発生地点の  
分析

貴殿は2017年電子情報通信学会安全・安心な生活とICT研究会において安全・安心な生活に役立つ実証・事例に関する優秀な研究を発表されました  
よってここに表彰します

平成30年3月21日

一般社団法人 電子情報通信学会  
安全・安心な生活とICT研究専門委員会

委員長 岡田和則

